



プロフィール

藤本 政明

1988年国際協力事業団(JICA)のスーダン国ハルツーム教育病院プロジェクトに参加。当時はひげを生やしていた(写真:後方真ん中)。

趣味: 音楽(ピアノ)、山歩き

家族: 妻と3人の子供(中2,小6,小3)

耳鼻科開業医雑感Ⅱ

開業して3年が経ちました。

私が、大学病院や総合病院に勤務していた頃は、急性中耳炎の患者さんを見る機会は実に少なく、さらに治るまで続けてみる機会はもっと少ないという状況でしたが、開業医となってからは一転して毎日が“急性中耳炎との戦い”となりました。一日でも早く治そうとがんばっておりますが、まだまだ思うようにならないのが現状の今日この頃です。

開業当初は、できるだけ患者さんの待ち時間を少なくしようということで予約制を試行してみましたが、実際に行ってみると予約時間どおりにはいかず、現在の方法に変更しました。つまり、来られた順に受付の用紙に名前を書き、その順番に診るといったものです。一人5分で計算すれば大体の待ち時間がわかります(詳しくは、受付でお尋ねください)。

短い診療時間内には病気についての説明が十分できないことが多く、また、患者さんもその時だけでは理解しにくいので、急性中耳炎とアレルギー性鼻炎のパンフレットを作っています。これからも、他のパンフレットを作ろうと考えています。また、NHKの“今日の健康”などに耳鼻科関係の記事が載っているときには、コピーして置いておりますので利用してください。

私は、開業以来木曜の休診日を利用して、手術治療を岡山市民病院手術室でさせていただいて参りました。参考Iは、私が大学病院時代に山陽新聞に掲載されたものです。もちろん、他の総合病院での手術を希望される患者さんにはご希望の病院を紹介させていただきますが、これからもこのシステムを活

藤本耳鼻咽喉科クリニック 藤本 政明

用していきたいと考えております。

1996年6月より、言語療法士の森 寿子先生が当院にて言語訓練を始められております。ことばの異常をもつ子供の数に対し、その治療施設はまだ非常に少ないのが現状です。森先生はこれまでの豊富な経験をもとに積極的に言語治療を行われております。嚥下障害、補聴器の選択および訓練などもあわせて行われています。

森 寿子先生のプロフィール

1941年岡山県成羽町生まれ。

1954年岡山大学教育学部卒業。

1965年岡山大学法文学部言語学課程終了。

川崎病院耳鼻咽喉科聴能言語士、川崎医療福祉大学医療技術学部感覚矯正学科言語聴覚専攻コース教授、神戸医療福祉専門学校副校長を経て、1996年より当院にて言語聴覚機能訓練を行っている。「コミュニケーション障害辞典」、「こどもの医療福祉相談」などの著書あり。

教育学博士。

参考I

岡山大は三年前から内視鏡手術を手がけており、すでに約70人に実施した。藤本政明講師(40)がうち40人に術後、尋ねたところ「全く痛みがなかった」(8人=20%)、「ほとんど痛まなかった」(16人=40%)と、手術中の痛みの軽減を評価した人が目立った。治療成績も従来の手術法に比べ、劣らないという。藤本講師は「従来、両側の鼻を手術すると最低三週間の入院が必要だったが、内視鏡手術では一週間前後。内視鏡カメラをモニターに映すことで、執刀医以外のスタッフも患部の状態を目で確認することができる」とメリットを強調している。

(1994.8.7.山陽新聞)